

東京

←御曲輪内大名小路絵図
(1865年当時の大名屋敷)

↓明治法律学校発祥の地
(東京都千代田区・数寄屋橋近く)



フランスから帰国後、岸本先生は司法省に出仕し、最後は大審院判事まで務めました。当時の司法省は、かつての本多美濃守屋敷(現在の丸ノ内2丁目)にあり、かつての松平主殿頭屋敷(現在の有楽町3丁目)に開校した明治法律学校とは直線で1kmに満たない場所がありました。

松平主殿頭屋敷

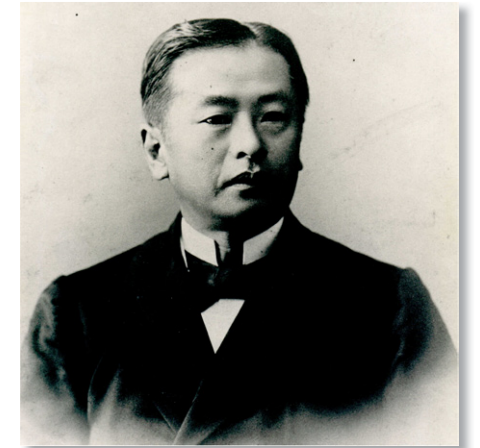
本多美濃守屋敷

岸本辰雄先生 ゆかりの地を訪ねる



京都 鳥取藩京都藩邸・「北野屋敷」跡 (京都市北区)

戊辰戦争が戦われた1868(明治)年、岸本先生は鳥取藩士として京都の警衛にあたりました。当時の鳥取藩の記録によると、岸本先生は現在の北野白梅町駅周辺にあった鳥取藩京都藩邸のひとつ北野屋敷やその周辺でイギリス式の軍事訓練に励んでいました。



岸本辰雄先生ゆかりの地

明治大学創立者のひとりとして初代校長を務めた岸本辰雄先生は鳥取県出身です。戊辰戦争の際、鳥取藩士として京都の警衛にあたります。翌年上京し、東京警衛の傍ら、学問に励みました。司法省法学校卒業後フランスへ留学、帰国後は司法官僚・法曹として活躍する一方で、明治法律学校を創立し、生涯にわたって学校教育・運営に尽力しました。今回は、日本とフランスにわたる岸本先生ゆかりの地を紹介します。

(明治大学史資料センター・阿部裕樹)

パリ

旧パリ大学法学部(フランス・パリ)
(法学部・村上一博教授提供)

岸本先生は、1876(明治9)年8月より国費でフランスに留学し、パリ大学で最新の法学を学びました。試験に1度も落第せず法学士の学位を取得し、1880(明治3)年2月に帰国しました。



関連年表			
1851	嘉永4	11	誕生
1859	安政6	—	この年、鳥取藩校・尚徳館に入学
1868	明治1	4~10	鳥取藩士の一員として京都警衛にあたる
1869	明治2	8~	鳥取藩軍のひとつ新隊に所属し、東京警衛にあたる
1871	明治4	1	鳥取藩の貢進生となり、大学南校に入学。翌年8月には明法寮(のちの司法省法学校)に転校
1876	明治9	8	フランス留学に出発
1880	明治13	2	フランスから帰国、司法省勤務
1881	明治14	1	明治法律学校創立
1890	明治23	11	大審院判事(~1893年)
1912	明治45	4	死去



岸本先生生誕地に立つ案内板
(鳥取市上町)



岸本辰雄先生胸像
(鳥取市尚徳町)

鳥取

岸本先生は、1851(嘉永4)年に鳥取藩士・岸本平次郎の子として生まれました。当時の屋敷は、鳥取市歴史博物館にほど近い場所(鳥取市上町)にあり、案内板(写真左)も設置されています。幼少年期の教育の場は鳥取藩校・尚徳館でしたが、2006年に校友会鳥取県支部のご尽力により、尚徳館跡地(現、とりぎん文化会館前)に胸像(写真右)が建立されました。